夕刊
磐城新聞
三月三十一日　發行
定價一ケ月金六拾錢（郵税拾五錢）　廣告料金　一段一回金九拾錢　二段一回金五拾錢
磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

お鎭守様へ泊つた事

千葉省三

（1）

すかんぽの莖をかみかみ臺山の下を學校から歸つてくると、安と勝治がこつちをむいてニヤニヤ笑ひながら立つてゐる。

『何してんだ』

そばへよつてたづねると安が

『お前こと、待つてたんだ！』と云ふ。

『今夜鎭守さまさ、とまりいがねか』

『鎭守さまさ？』

『うん』

『何しに』

『何しにつちこつたねえがばうけんさ』

そのころおれたちの仲間では、ばうけんが大はやりだつた。大尺坊の裏山を越ねたり、ごんたろ淵の水の底へむぐつたり。鶴が峰の岩穴の奥をさぐつたり、てんでにいろんなことをして自慢し合つてゐた。

『鎭守さまさとまつたつてばうけんた云へめ！』と云ふと、勝治が

『やつばしばうけんさ。あの杉森ンなかで、一晩夜明しすんだもん』と云つた。

『昔ッからお前武者修業なんちもな、あゝいお堂さとまつだもんだ』

『蚊に食はれんべな』

『なあに、ふるしきかぶつてりや、大丈夫だ、たまげんぞ、みんな學校さ來て話すと』

さう云はれると、おれはだんだんその氣になつて妙にからだがゾクゾクして來た。

『よし、いぐべ』

おれは夕飯がすんだら小卵塔（墓地）のとこで落合ふ約束をして二人と指切りしてわかれた。

風呂敷に、小刀と新聞紙を五六枚とそれからお夕飯のあまりをお母さんが握り飯にして置いたのを、こつそり三つばかり持ち出していつしよに包みこんだ。新聞紙は寢るときに下へ敷くつもりだつた。

『兄さん、何してんだ』

弟が來てのぞきこむ。

『いいから、だまつてろ』

おれは手早く風呂敷を丸めて片手にさげると臺所へ行つて、足さぐりに下駄をつつかけて戸口をまたいたつそりと奥の石段までつゞいてゐる。眞黑な杉の木のいてお月さまをながめてゐた。のつぼの安と、ちびの勝治が、たんなじやうな姿をして、その中にまじつてゐた。

『おせえな！』と勝治が云ふ。

『よつぼど待つたか？』

『ううん。そんなでもねえ！』とこんどは安が云ふ。

勝治が先に立つて、藁草履をペタペタ云はせながら歩きだす。

『何持つて來たんだ、おめね！』

安は大きな風呂敷包をかかえてゐる。

『たうみぎ……それから蠟燭が三本、お宮ん中あ、くれえかんな』

田んぼがつきると、お鎭守さまの杉森だ。

鳥居の下から長い馬場がまだらに月の光を落してひつそりと奥の石段までつゞいてゐる。眞黑な杉の木の

亡愛兒

久滿夫

生れいで、命短く死にゆける吾子を思へばなかざらめやも
（あ）
（わ）
稚げれば下べの道をゆきなづみ泣きてかあらむ寒きこの日を
新早世惠順蓉清童女靈位　吾子はほとけとなり給ふなり
大わだのま中にむきてなぐさまぬ心痛みつつ吾子を思へり
南無大じ大悲の地藏おん菩薩下べのみちをみちびき給へ
はしけやし吾子の名呼べどめつぶりて佛のみ子となりにけるかも
生れいで、まなくし闇にかへりゆく吾子を思へばいたらしきかなあゝ

まりいぐかんね、よかんべ母ちやん』

奥の方をむいてさう云ひ捨てて返事もきかずに外へ走りだした。

お月夜だつた、草の葉つぱにけむみたいに、いちめり、水ん中の鮫みたいにチカチカする。

石段を上つて廣場へ出るとまぶしいやうな明るさだお宮が畳間見たときの三倍も大きくはだかつてゐる。

影が、何だか、底なしの深い溝の口みたいで、足を踏みかけるのが、おつかないやうだ。

先に行く、安と勝治は影んなつたり。明るくなつた進居合せたから、長兵衛に代つて使者に對面し……近頃長兵衛は大病にて碌々話しさへ出來難き有樣、何分仰越しの儀は當人に達し兼る、病氣全快の上は其由申し聽け、御挨拶に出るやう仕るが、只今のところでは何共お返事が出來兼ねる、仰せは野崎槇之進確かに承はつた……と答へて返しました。處が水野十郎左衛門、長兵衛が病氣と云ふこと致しますまいか、のみならとを信じません、其時は長

時代警語

○人は自己の身を以て第一の幇手となすべし……（スマイル）

人々の幸福及德行は皆身自らの主宰となつて勤めて做す事によつて得たのである。故に如何なる人でも智者となるし人も仁者となつた人でも他の助けを得た事は多いとは云ふもののその主要は自己を絶好の幇手としたものに外ならない……

指華微笑

あすぞ博覽會の蓋あけ。同時に平町今年の春の蓋あけだ

◇

銃聲のこだまに散る櫻一片二片

壯快な高坂の射擊大會近づく

◇

電話番號簿へ廣告掲載。反り天

神のお役人にも之の抜け目なさ

◇

あすの日よ好晴なれ！。

○……○

お

俠艶女長兵衛

東京　斯波南更

（魚崎潮畫）

（一七二）

斯る折柄水野十郎左衛門から、使者をもつて……先般お招ぎ申したが都合ありて近頃出來に及んだから、前約通り粗酒を遣はしたい來る何日罷出るやうに……と申し來つた當時野崎槇之進居合せたから、長兵衛に代つて使者に對面し……近頃長兵衛は大病にて碌々話しさへ出來難き有樣、何分仰越しの儀は當人に達し兼る、病氣全快の上は其由申し聽け、御挨拶に出るやう仕るが、只今のところでは何共お返事が出來兼ねる、仰せは野崎槇之進確かに承はつた……と答へて返しました。處が水野十郎左衛門、長兵衛が病氣と云ふこと致しますまいか、のみならとを信じません、其時は長

でござらう、當所の普請出來と聽いて、自分の化の皮は、武士の一分のため殺して終はふと云ふ、何も殺したい事は無いのだから手荒な料理は宜しくない、先づ醫者から容體を聽いて其上考へた方が宜しからう水野何うだ』十『ウーム夫れは其通り、何うぢや坂右衛門其の村井玄白と云ふ醫者を連れ參ることが出來るか拙者は逢つた事も見た事もないのだが……』坂『ィヤ夫れは何より雜作のないことで、御前が其の思召でございますならば直にも連れ參ります』十『宜しく計ラヒ連れ參つたところが御前の思召が思召でございまして、亂暴に當つて當人の心を害しては、お心に從ふ前、坂田の坂右衛門は長兵衛子分の勇氣に恐れをなしてゐる、此の主從だけならば或ひは格別の騷動も起らむのだ、其事が行はれぬ時

社會の今日

○見遼へる去年の娘や花の茶屋　月尚

講談

日　1月　4月

△親鸞上人生る（承安三）△始めて獨飛行機船英國に侵入爆彈を投す（大正五）△農林商工兩省設置（同一四）△復興局を廢止す△鐵道貨物に保險制實施（昭和五）△大毎主催全國選拔中等學校野球大會始まる△京都市隣接一市二十三村編入實施（同六）

△前六、三〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象通報
△九、一〇料理献立（クラブサンドキッチ）朝倉長吉
日用品値段（鮮魚るい）
△一〇、三〇A　家庭講座（滿洲に於ける婦人の活動）奉天聯合婦人會長田中きよ子
△正午A　時報
△後〇、〇五　映畫物語（鳩笛を吹く女）桂木詩城
△〇、四〇A　ニュース　氣象通報　告知事項
△二、〇〇A　婦人講座（外國生活の色々の經驗）岡本かの子
△一、一〇　六、〇〇B　運動競技（大毎主催中等學校野球大會）甲子園より中繼
△三、四〇A　氣象通報
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇（子供の時間）お話（入學の門出を前にするお子さん方のために）仙臺市南材木町尋常小學校長小關三郎
△六、三〇A　講演　農林省山林局長長瀨良一
△七、〇〇A　ニュース　氣象通報　告知事項　番組豫告
△七、三〇B　講演　大谷尊由
△八、〇〇A　花七夜『第一夜』落語（百年目）三遊亭圓遊
△八、三〇A　都をどり（都の壽恵廣）京都祇園新地歌舞練場より中繼
△九、三〇A　時報
△九、三〇B　奉天より
△九、四〇A　ニュース　氣象通報　番組豫告

ラヂオ

……一日…〔金曜〕…

仙臺　JOHK

東京十軒店久月の雛人形陳列
お子樣方が一年中で一番樂しみな桃のお節句が近づきました。江戸の檜舞臺日本橋の十軒店で永年御愛顧を受けて居ります。弊店は今度初めて御當地へ參りました。是非一度御覽の榮を得たく御待申して居ります。今後永く御引立を頂き度くと存じますから値段と品質とで他店のまねの出來ぬ勉强を致します。
平町田町（停車場通り）平マーケット内
東京日本橋十軒店
久月本店直營
電話平局六〇三番

生徒募集
時代に適した婦人の職業
産婆。看護婦
◆……卒業一ケ年
◆……申込四月八日迄
◆……入學無試驗
平町南町
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ
電話三〇七番

夜診
胃腸科　内科　十二指腸病
專門部
淋病　皮膚病　婦人病
專門部
内科　外科
胃腸　性病
松村醫院
（平南町電話一〇七番）
療間

日本で（最大　一番　最良）の火災保險
東京海上
一、火事は何時何處で起るかわかりません
一、保險をつける事は災害の起つたとき確實にしかも迅速に保險金の取れる會社に限ります
一、東京海上は如何なる大火の時も又如何なる大きな金額でも直ちに支拂をする準備が出來て居ります。
東京の大震災の時自力を以つて火災保險を支拂つたのは東京海上只一つであります
一、保險をつけるなら日本一否世界屈指の確實な東京海上を擇ぶことが安全第一であります
東京海上火災保險株式會社　平代理店
阿部石炭商店
阿部政右衛門
電話二七三番

奏効的確たる美神淋藥
毒退治ヨーデッ丸　四圓五十錢　八圓　二圓　五圓
地方代理店　山野邊藥局
平町五丁目角

美神丸
子宮病コシケ
子宮坐藥の王、最も多くの全快者と、最も多くの賞行を示す大評判の美神丸!!家庭で手輕に重症の婦人病も秘密に治し、しかも一日當り僅か五錢。
本藥を販賣しない婦人間に信用なき店と見做されるとの評判です
信用を重んじ一流の藥店として藥せんとする方は今すぐ御尋ねを。
價格　二週間分　八十錢　五週間分　一円八十錢　三円五十錢
特約藥集
本舗大阪市西区靱北通
代理店　高橋、丹生、小林

朗らかな美音・消化と殺菌
懷中良藥
超仁（くうじん）
銀粒
特約店募集
二十錢（三八廿粒）　三十錢（四百粒）
五十錢（五十粒）　五十錢（七百粒）
大阪市南久宝寺町堺筋電話船場五四五
本舗　宮內商進堂
東京淺草區田原町文殊　電話淺草三三五一
從來懷中藥斷然一蹴
各地藥店にあり

プレゼントには……
御携帶用にゼヒ時計を
お奬め致します。
常に商品の確實と流行の粹は時代のスタートを切つて顧客本位を生命として各位樣の御來店をお待ちして居ります。
◆御注文及び修理は
電話一九五番へ
新入學生への
營業目品　各國時計類　貴金屬眼鏡　蓄音器各種及レコード　懷中電燈
鐵道省御用
金光堂時計店
平五（釜屋向ひ）
電話一九五番

數百の來賓を迎へて あす愈々産業博開館

色彩鮮かな龍宮城を中心に 南裏のビツク・パレード

花の春。人の春。花時になれば人の心はおのづから樂しく浮き立つものを、生きとし生けるものが悉く地上に撒かれた自然の美酒に吸ひ寄せられる時、平町は博覽會である。その蓋あけが愈々明卯月朔日では無いか、南町の宏莊なる地を相して建てられた悉く近代樣式の粹をあつめた而も龍宮城の樣な幾棟よ！、何と大袈裟なページエントリイではある。

開館式次第

記念すべき開館式は各方面の名士數百名を招待し午前九時から受付を開始十時一同着席會長井上茂作氏開會の辭を述べ

國歌合唱、會務報告主催會長伏見彦衛、會長式辭總裁告辭村井知事、各大臣祝辭代讀專務長關内正一、來賓代議士佐藤圧太郎、鈴木辰三郎、比佐爲平、縣議代表赤坂毅一、全國府縣代表愛媛縣松山市長御手洗忠孝、官公署代表判事中島十藏、縣内市町村長代表喜多方町長田中盛雄、郡内町村長代表小名濱町長鈴木榮、全國商工會議所代表山形縣鶴岡商工會議所會頭鈴木佐次平、町會議員代表花澤兎五六、平商工會頭山崎清三、協賛會頭青沼鉾太郎、出品人總代相原幸次郎諸氏

の祝辭あつて閉式、餘興に移り了つて開館一般に公開する筈であるが主催會長伏見町長の式辭次の如し

式辭

本日平産業奬勵會主催昭和産業博覽會開會式を擧行するに當り、閣下を初め多數貴賓の賁臨を辱ふしたるは本會の最も光榮とするところなり、抑我平町は今春を以て町治多年の懸案たりし上水道擴張事業の竣工を見るに因り之を永く記念すると共に地方産業の開發に資し國産愛用の機運を促進し以て我經濟難局打開に貢献するは現下の國情に鑑み最も緊要なるを信じ茲に昭和産業博覽會の開催を企圖するに至れるなり顧ふに本會の開設たる本町に於ける斯種事業の嚆矢にして果して一般の期待に副ひ得るや本町の秘大字高坂磐城炭礦グラウンドに危惧せしところ、然るに幸にして朝野各方面の熱誠なる同情と援助に依り出品の範圍は本邦内地は固り遠く臺灣、朝鮮、樺太、滿洲の各地に及び方法は縣獵友會にて放出せしも方法と同樣並に普通射擊方法としハンド或は自動トラップ機を使用して一部前面續け打六回十二點、二部前面一個打十二回十二點合計既定の規模に狹隘を告げ遂に其の擴張を要するの盛況を呈するに至りしと一面本會協賛會の終始甚大なる後援と相俟ちて一段の光彩を添へ得たるは本會の衷心感謝に堪へざるところなり、蓋くは本會の開催により幸にして地方産業の開發に資し國民經濟振興の一助となならば以て本會の使命を完ふするに庶幾からんか、茲に一言を陳べて式辭とす

昭和七年四月一日

昭和産業博覽會長　平町長　伏見彦衛

常磐倶樂部主催の 大仕掛な射擊大會

來月中旬高坂グラウンドで

内郷村常磐射擊倶樂部主催二十四點を滿點とし會費は本會費二圓打返料各部宛一圓五十錢で尚ほ賞品は（滿點）名刀一振（關の孫六九代目二尺四寸）杉山今朝吉氏寄贈

平町長橋町佐藤淺治(四)は昨三十日傷害罪として秋本を平署に告訴した

神谷村表彰二件　二十八日午前九時から五年度納税成績優良の表彰式を又同村産米奬勵金交附式を同村役場で午後五時頃神谷村大字鎌田に附した

鎌田の隧道内に— 番頭風の轢死体

身許不明で假埋葬

今曉五時頃神谷村大字鎌田隧道内に一見二十七八才前後宿屋番頭風の轢死体ある狩武雄、吉田豊、矢内朝彦、根本榮二郎、弓野治郎、鈴木一、米川清、草が遺留品なく何處の者とも明せず同村役場で假埋葬

既往何旬血の努力は けふの誇りに報いらる

磐中新入學生二百五十名

本社の慰問に對する謝狀一束

142

本吉正、大和田一雄、阿部景良、石井貞信、吉野吉雄、藁谷達、草苅建、堀竹雄、高田憲一、本馬正雄、簿井重光、小田榮石井泰之、根本正男、先崎正、渡邊泰男、武田忠夫、小野泰也、賀澤一郎善、阿部宏四郎、松本久酒井榮壽、有馬德衛、鷲皓、小宅藤麻、高野忠好小林晃、志賀剛、矢吹博小湊勇次、高萩達雄、植松力雄、志賀健、木村德衛、青田一郎、鯨岡孝、加茂久雄、前田美雄、松

小野義夫、高野邦一、平山靜、木田昌平、坂本吉正、安藤仁、齋藤利夫、鈴木洋一郎、片寄正彦、大平孝、强口五郎、鈴木三郎、草野芳房、砂田誠鈴木義正、佐藤良一、吉田清二、西野敏夫、梅田進一、鈴木正一、鈴木六郎、關場毅、阿部榮五、湊徹郎、加藤林、赤津明田村農夫雄、阿部貞太郎大和田勇、青木滿男、篠原英任、紺野繁雄、鈴木四郎、吉野八十榮、鈴木壽、門馬杏一、安齋一郎石田公俊、宇津野勘壽、磯上光男、松本廸男、篠原清剛、山家重三、大野章雄、戸來盛、西山茂、橋本喜言、石井敏光、山名光男、鈴木吉平、高階侃、長谷川敏、船田義澄佐川一貞、柳原貞男、明智一郎、鈴木政文、箱根志磨男、鈴木洋三、新妻湯本町カフエースター事秋本孝次、大原馨、金子正三星野義寛、橘八郎、鈴木清忠、鈴木輝男、菊地民郎、山崎道雄、安藤源吾高木俊雄、高木金重、平澤正成、作山友人、里見可中、赤塚兼松、大友通雄、秋山清、秋山金彌長瀬高行、平山壽一、三好正巳、三島浩、酒井健清邊正喜、鈴木武雄、木田博、鷲七郎、北野正明鈴木源一、箱崎孝一、戸田貞雄、佐々木士郎、額賀弘、比佐九、石川博、佐藤松雄、小松明生、木田茂敏、赤津益太郎、猪後宿屋番頭風の轢死体ある

保、片寄忠浩、渡邊行郎樫村洋、木田唯三郎、長谷川隆、佐藤義雄、佐藤進、松田浩一、加澤慶太郎、成清磐城、山田晋、牧田清、鈴木佐造、荻野浩、新井美照、久松滿穗石崎久雄、大野昌二、塚本三郎、山下卓也、鳴原宏、新妻義雄、山口重勇丹野英明、木村義貞、西山勇造、佐藤信雄、渡邊唯一郎、小林安友、青天目武夫、渡邊藤二、柴田赳雄、矢野仁一、渡邊清匡、豊澤峯雄、木村健治森靜政、小野春男、助川浩、中島端、綠川六八、和田壽夫、渡邊正敬、石

橋正巳、水野三郎、赤津一衛、金成金三郎、根本繁之、飯島司廉、鈴木實上鈴木久、秋元順吉、比佐幾造、松本一夫、佐野泰治、齋藤久、山浦雪一、鈴木多一、安孫子義秀佐藤久壽、渡邊定五、渡邊忠雄、佐々木厳、杉山朝臣、齋藤四郎、篠原貢志賀長平、志村憲助、小松治夫、松崎由郎、永山貞雄、岡田軍治、遠藤茂高木浩、二瓶英男、園部英明、駒澤秀一、松崎元弘、藤田晋一、渡邊友好山下年一、須藤吉弘、鯨岡作壽、若松壽雄　以上

女給周旋の事から 綴驛前で大立廻り

一方が殴られて其筋へ

平町慶弔錄

△出生　宮城縣仙臺市荒町二二堂の前二〇　鈴木貢之丞長女美枝

複雑骨折して 中關節以下を切る

赤井村煉瓦工の奇禍

赤井村磐城煉瓦工場職工杉野德藏(四四)は二十五日午後五時半頃作業中誤つて煉羽根に右足を挾んで複雑骨折し昨三十日附近の病院で中關節以下を切斷した

平第二小學校級擔任

第二小學の擔任は左の如く決定した

(一年)1先崎清2鈴木トク3海老原英4木村ひで(二年)1四家安男2蛭田いさ3渡邊つな4山森たま(三年)1橋本キシ2大和田キヨ3加治コト4志賀なか(四年)1野原忠見2鈴木寛3玉木英明(五年)1佐藤信義2大須賀百世3米本實(六年)1小松政一2熊谷保高3松本清美(高一)1草野光司2(新任)3荒忍(高二)1折笠博茂2金澤邦男

磐女轉入學

合格者發表さる

磐女の轉入學合格者は次の如く昨三十日發表になつた(二年)宇佐美きく、馬目千代、馬目玉子、高橋百合、川又タケ、志賀律子佐藤喜代子(三年)川島セツ、鈴木サダ(四年)關田きぬ江、坂本千代子

一家三名罹病　磐崎村田

開催春季檢閲其他に就き附議した

一二歳駒耀は左の日割により澤渡村寺宿子田子佐吉方で

開催中である

三十日中三坂、下三坂、上永井、三十一日大利、高野、柳小屋、渡戸、一日差鹽、下市萱、二日上市萱、下永井、中三坂、三日上三坂、平方部、合戸

小名町農會豫算　昨三十日午前十時から議員總會を町役場に開き豫算決算を附議した

神谷消防幹部會　二十八日午前九時から村役場に開

の增である

蓙菱屋組合改選　小名濱

町上町佐藤政治方で開き左の如く決定した

組合長佐藤政治、副大河原近右工門、幹事鈴木武八、田中福松、加藤福松

會計南波勝彌

磐中進學者　秋田礦山へ

宮内重秋が入學を許さる

太子堂祭典延期　平町仲間町九品寺の太子堂建設祭典は二十八日盛大に執行の筈であつたが時節柄經費を節約し秋季例祭に併せ行ふ事となつた

平町慶弔錄

△出生　宮城縣仙臺市荒町二二堂の前二〇　鈴木貢之丞長女美枝

長橋町五〇相馬郡石神村下川原六〇谷津田恭治二女和子

研町五只野菊治二女一子

田町一三豊間村豊間柳町三一三浦桂次郎二女八重子

滿洲からの

北滿にも春は訪れて 生々躍動の機を待つ

宜く銃後の御支援を……と

平町出身　草野忠君

——新聞をお送り下されて參りました、内地にも春たが北滿の地は平穏で御座いません、軍は事態に鑑み現況の待機の姿勢にて居りましたが二十四日某地に向つて出動致しました、ソビエット露國は北滿の地に○○○○○○

◇○○○○○○○　のため或は何んの彼んのと理由を附け○○して居ります、一種の示威運動とのみ考へられぬ點が多くある樣です。此の長閑な春らしき平和は何時になつたら參るのやら淺識な一兵卒には解りません、去る二月四五日の哈爾賓市外附近の激戰にて命令の通り止むなく留守勤務に服して居る、現在も第一線に一日も早く立ち

◇奮鬪致し皆樣　への御禮に代へる決意にて御座いますれば今後共御指導御鞭撻の程御願ひ致します。茲に近況を述べ御禮に代る次第で御座います。

本紙郵送休止

昨年十一月以來郡下出身在滿將兵に郵送し來れる本紙は爾後特異の事件を報道する場合のみ郵送申し上ぐる事と致します。從來幾分なり陣中の慰安に資した事がありまするなれば本社望外の光榮とする處であります。

お蔭樣にて故郷の狀況に接し訪れる事を得まする事を厚く御禮申上ます。寒氣厳しき北滿の地にも

◇春らしき氣分　が漲つ

電話番號簿へ廣告掲載

平局で募集中

平郵便局に於ては明一日より二十日迄電話番號簿へ廣告を募集中である

濟生（どくくだし）のお蔭でいつも氣分が晴々…賞により諸毒を下し、血を清新にします……。
一週間分　九十錢

肋膜炎の妙藥（天授の奇方）健やかなれ朝夕……るいれきにもよろし。
一週間分　一圓八十錢

◎檢査致します。皆樣を使の白粉中に有毒な鉛が入つて居りませんか？無鉛とわかつてから、それを永續してお使用になるのがお爲です。

平町二丁目十六（電話三二六）
堀藥局

櫻花期提灯賣出し
花模樣付賣出用提灯
一ケ　金參十五錢
元綠模樣付仝　耐雨ミシン縫
一ケ　金五十五錢
市内裝飾軒提
一ケ　金四十錢ヨリ
其他種々取揃てあります。
御照會次第早速現品見本持參御伺致します。
平四丁目
スガノヤ提灯店
電九五番

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠清
新潟醫學士　赤羽
藥劑士　佐竹菊雄
内科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

四月一日　金曜日　二月　十二　六　除　先負　壬辰　鬼宿

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

△一白の人　身を捨てて人に盡すも左程に感激されぬ日▲二黑の人　物事の遲滯を懸念せず平穏なれば吉とせよ▲三碧の人　自ら興奮して思はぬ失策を生ずることあり▲四綠の人　遲滯は覺悟して萬事焦らぬが安全なるべし▲五黃の人　心氣一轉すれば却て失敗あり方針を變るな▲六白の人　熱心の度を增せば難苦も突破し得べき吉日▲七赤の人　齎貨は大利を生ずべし起業開店婚談に宜し▲八白の人　誘惑の魔手を避けは逆ず當業を勵まるべし▲九紫の人　天與の福ろくは漸次に我が身に加はり來る日